

図書館だより



休館日…毎週月曜日、6月2日(木)

★団体向け貸出資料のご案内

保育所・学校・児童クラブ・子ども会などの読み聞かせやお楽しみ会などにご活用ください。

①大型絵本…160点所蔵

②大型紙芝居…11点所蔵

③エプロンシアター…46点所蔵

所蔵リストは図書館カウンターで配布しています。各資料1団体2週間2点までご利用いただけます。

※紙芝居用舞台の貸し出しもしています。

★6月の「おはなし会」開催日 (八日市場図書館)

4・11・18・25(土) 14時から約30分間

ホームページ

<http://www.library.sosa.chiba.jp>

問 八日市場図書館☎73-3746(17時まで)

訂正とおわび

広報5月号16ページ市政の窓で誤りがありました。下記の通り訂正しておわびいたします。

【誤】3月14日、天皇皇后両陛下が

【正】4月14日、天皇皇后両陛下が

市政の窓

No.13



東日本大震災発生から2か月半余。自粛ムードも徐々に収まり、復興への機運が高まってきた。国民として復興に向け何ができるのか、少しでも役に立つべきだと思います。

復興に向けて

切り替え、電球のLED化、待機電源の整理など。環境義援金・ボランティア活動には、ある程度限界がある中、福島第一原発の廃炉指の植木生産地である本市に続き、浜岡原発の一時停止、更にはエネルギー基本計画の白紙。自然エネルギーに頼らざるを得なくな

私はこの緑のカーテン運動は1年限りではなく長く継続できればと思っています。地道ではありますが一人ひとりが自分のできる範囲で復興に向け協力していきましょう。

匝瑳市長 太田安規

消費電力15%の節電。私たちができることは、エアコンの温度設定や扇風機への

総合支所へご連絡を。

少年の明るき声の「おはよう」は老いの心に灯りをともす

孫は今朝はやくはやくと急かされて重く曳き行く通園バックを

八日市場イ 鈴木 和子

紅梅に寄りそなうように雪柳土手の董も春を謳歌す

山桑 佐藤 泰子

カーテンによる室内温度の

抑止に多くの家庭が参加することにより、市民の連帯感をつくり、市内美化を図

り、ひいては来訪者の歓迎

短歌

土屋 耕一 推薦

之音コーナー

故郷の山の懐かし朝々を露に濡れた草を刈りにき

平木 戸村とき子

八日市場イ 鈴木 和子

南波 鹿子

時曾根 南波 鹿子

案じいし巨大地震が起りたり津波三波の悪魔をつれて人の世の終りかと思う大地震に甘日過ぎても足裏のゆるる上谷中 加藤 八枝

震災に遭いし人らに励ましの歌詠めずしてもはや募金す

八日市場イ 木島 仁美

川口 城司 推薦

はこべ引く庭片隈にあまどころ丈まだ低く花揺れてをり

今 泉

熱田千代子

小春日の大空に舞ふハン格ライダー一望の景ひとりじめする雲のごと波のうねりの如く咲く娘の母校グラウンドめぐりの桜

野 手

伊橋 良子

西野 楓雨 推薦

俳 句

剥落の朱色鳥居に若葉雨

野佛の眠氣をさそふ若葉風

登 戸 飯 高

安藤 建子

伊藤 さく

中世の景観

内山を歩く

匝瑳 探訪

- 61 -

内山地区は、市内北部に位置し、多古町に隣接しています。

が整備され交通の便が良くなりましたが、集落に入りますと、台地に入り組んだ谷地の斜面を背にした家いえから古集落の雰囲気が感じられます。昭和50年以降の調査によつて、この地域の鎌倉・南北朝・戦国時代のようすがわざかながら知ることができました。

昔からの自然に囲まれた内山地区の谷津田

む藤原親政(千田親政ともい
う)という武将が1000余
名を引き連れ源頼朝に参軍し

ます。この内山館がどこにあつたか正確には分かつていませんが、地域には内山砦、内山中城跡、内山城跡などの史跡が確認されていて、多くの兵士を動員できる武将の存在があつたとしてもうなづけるような気がします。

た者として内山氏という土豪族ど（土地の小豪族）が考えられます。内山氏は利根川沿岸の2つの津（港をいう）の支配権をにぎり、1363年には香取神宮へ押しかけるなどの乱暴が鎌倉幕府に報告されほどでした。戦いに明けくれた内山氏が、一方では来世への往生を願つたのでしょうか

1435年ごろまで妙広寺周辺に存在したと考えても間違いないでしょう。現在、中央地区見徳寺境内にある1430年と刻まれた「弘法石」なども「内山から移転した」とする伝承を裏付けるものといえます。

せせらぎに藻の青々と立夏かな	八 辺	依知川きよ
百才の父の離れ家軒菖蒲	横須賀	岩井 やす
花は葉に余震治まる気配なし	八日市場イ	平山 もと
椎若葉土壁に鱗走りをり	八日市場ハ	大川 宣子
走り根をまたぐ走り根青葉山	高	中村 和子
花筏しづかに風の推して行く	八日市場ニ	中川まさ子

川
柳

高梨 果宝 推薦

			放射能足止めされた春野菜	川柳	高梨 果宝 推薦
被災地の桜無心に咲いて散り	木 積	佐久間美智子			
避難所にWパンチの雪が降り	飯 塚	鈴木ツネ子			
別れとは知らぬ牛にも餌をやり	八日市場イ	常世田やす子			
震災が原発事故の置き土産	長 谷	関川 幸子			
八百長に国技と鬚が押し出され	石毛惣一郎				
震災に不仲の国も善意見せ	平 木				
悲しみに耐えて未来の夢を見る	八日市場イ				
	森 あつし				
	鈴木十世志				

川口 城司 推薦

母の目に届くブラウスお赤飯 川辺 加瀬 きよ
ひこ孫を抱いて卒寿の座が和み 川辺 嶋田テル子

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-12198
匝瑳市八日市易八七九三

73-0080 FAX72-11

あります。この真乗院跡も正確には分かっていません。しかし、平成6年に妙広寺境内で発見された板碑（板石の供養塔）に、1349年と1368年の年号があつたことと、文書記録と合わせ考えると、真乗院が1350年ごろから

問
秘書課広報広聴班
☎ 73・0080

73-0080